



South Miyagi Medical Center

中核だより



病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

病院方針

- 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
- 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
- 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
- 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

主な内容

看護師募集中
詳しくはホームページをご覧ください



地域医療構想策定から地域包括ケア社会へ	2 3 ページ
住民の皆様へ	3 ページ
診療科紹介(1)、面会時間のお知らせ	4 ページ
診療科紹介(2)	5 ページ
感染管理認定看護師について、栄養サポート	6 ページ
第3回中核病院オープンホスピタルを開催します	
外来ボランティアの募集	7 ページ
外来診療時間及び担当医師のご案内	8 ページ





地域医療構想策定から 地域包括ケア社会へ

院長 内藤 広郎

今年の年明けはこれまで経験したことがないほどの暖かさで迎えることができました。

そのためか、年末年始休業中の救急外来の受診者数は一日当たり102人と、前年の142人に比べて40人少なくなりました。インフルエンザの流行がほとんど見られなかつたことが大きな要因だったと思いますが、このまま各種ウイルス疾患の流行がないことを祈りたいと思います。

当院の病院機能については、昨年5月に待望の緩和ケア病棟が開棟するとともに、救急科の医師が4名体制となったことに伴い救急疾患の受け入れ機能が向上しました。開院以来12年9ヶ月目での大きな節目となりましたが、医師派遣元の東北大大学や支援していただいた医師会、行政機関を初めとする関係各位に心から感謝したいと思います。

さて、当院は本年8月をもって開院14周年を迎えます。この間、わが国は2008年以降、初めて持続的に人口が減少する社会に突入しました。先日公表された国勢調査報告でも仙南医療圏の人口は2010年から2015年までの5年間で183,679人から6,441人減少して177,238人になりました。減少率としては3.51%になりますので、毎年平均0.7%の割合で人口が減っていることになります。このような人口減少と同時に、これまで経験したことのない少子・高齢・多死社会が進行中であることもご存知の通りです。このような人口構造の変化は医療費の増大と連動せざるを得ませんが、一方では国の財源にも限りがありますので、医療費の適正化、効率化が政策の大きな課題になってきます。

このような課題を克服するために、当院が開院してからの14年間に2度の医療法改正が行われました。平成18年6月には第5回の改正がありましたが、目標とするところは「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の推進」です。8年後の平成26年6月には「医療介護総合確保推進関連法案」が成立し、第6回の医療法改正にそ

の内容が反映されました。第6回改正の目標は第5回改正の目標に加えて「地域包括ケア社会」の実現が盛り込まれました。地域包括ケア社会とは「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが構築された社会」と言うことです。

このような地域包括ケア社会を実現させる期限を、いわゆる団塊の世代が全員後期高齢者になる2025年（平成37年）までと定め、それまでの間は2年毎の診療報酬改定や3年毎の介護報酬改定で軌道修正を行いながら制度構築を目指して行くことになりました。その流れの中で、まずは平成26年11月には各医療機関が今後どのような病床機能を果たして行くべきかについて各都道府県に報告することが義務づけられました。病床機能の区分としては「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4種類です。これらの病床機能報告をうけて、各都道府県は平成27～28年度中に「地域医療構想」を策定することになりました。地域医療構想とは各医療圏の実状に応じて、上記の4種類の機能区別に需要病床数の将来予測をおこない、各医療機関から報告されている病床数とのずれを検討した上で、医療圏内でバランスのとれた病床機能ごとの将来的な医療供給体制を構築することです。宮城県における地域医療構想の策定は県全体の会議が合計4回、医療圏ごとの会議が合計3回予定されており、第1回の県全体会議は平成27年9月、仙南医療圏の会議は平成27年10月にそれぞれ既に開催されています。仙南医療圏の第2回目の会議が平成28年2月に予定されていますが、他の医療圏の会議の結果も踏まえて、平成28年9月までには宮城県全体として地域医療構想が策定されることになります。

地域医療構想が策定された後は、各医療圏においてそれぞれの医療機関の果たすべき病床機能が明らかになってきますので、当院の様な自治

体病院は平成27年3月に策定された「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成28年度中に新改革プランを策定し、その後平成32年度までに実践していくよう求められています。今回の公立病院改革ガイドラインに「新」と表記されている理由は、平成19年12月に第1回目の「公立病院改革ガイドライン」が示されていたことによります。この旧ガイドラインの意図したところは、第5次医療法改正で目標に掲げていた「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の推進」を推進するため、地域医療において重要な役割を果たすべき公立病院に対して変革を求めたことです。旧ガイドラインに基づき、全国の公立病院は平成20年度中に「改革プラン」を策定した上で、平成25年度までプランを実践してきました。しかし、改革の達成度が予想を下回ったこと、および地域医療構想策定により地域の病床機能が明確になること、などの理由から公立病院にさらなる改革を促す目的で新ガイドラインが策定されることになりました。

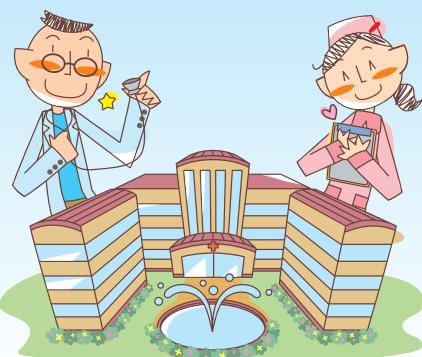
新ガイドラインの基本方針は旧ガイドラインと同様に①経営の効率化、②経営形態の見直し、③再編・ネットワーク化、が基本になりますが、新たに④地域医療構想を踏まえた役割の明確化、が加えられました。この方針に従って大きな改革を行う場合の予算的措置として、新しく「医療介護総合確保基金」が創設され、平成27年度より毎年総額904億円が各都道府県の実情に応じて分配されています。

以上の経過から、当院においても宮城県地域医療構想の策定をうけて、本年秋以降には新改

革プランを策定する作業を開始する予定です。現時点では地域包括ケア社会の実現に向けて、当院の果たすべき病床機能としてはこれまで通り高度急性期および急性期機能と考えています。具体的には救急医療、がん医療、専門医療、小児周産期医療等ですが、これからも機能と質の向上をめざして参ります。このような病床機能が医療圏の中で不足している状況下では、当然のことながら地域包括ケア社会を目指すこともできず、ましてや地方創生を議論することもできないからです。しかし、地域包括ケア社会は高度急性期や急性期の病床機能が整備されただけでは到底実現できません。実際には医療圏内の医師会、歯科医師会、薬剤師会および関係する医療機関、介護福祉系施設、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、行政サービス部門、住民など、すべての関係者がお互いに密接な連携と話し合いをもつことが不可欠だと考えております。これから、2025年までの取り組みが全国ではじまることがあります、仙南医療圏内においても当院の役割をしっかりと果たして参りたいと思います。つきましては、平成28年も住民の皆様をはじめ関係各位のご支援、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



住民の皆様へ



当院は、地域のかかりつけ医の先生方と連携し役割を分担しながら診療にあたっております。初期診療はかかりつけ医の先生で、高度あるいは専門的な医療が必要な場合は当院で担うというように、役割・機能を分担していますので、以下の事をお願いしております。

- ①緊急性のない場合は、かかりつけ医の先生を先に受診していただけようお願いいたします。
- ②地域の診療所からの紹介及び予約の患者さんが優先となっておりますので、紹介状がない場合は待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。(救急を除く)
- ③当院受診の際、紹介状のない患者さんは診療費の他、厚生労働省告示により保険診療外として1,620円(税込み)をいただいております。

●●● 診療科紹介(1) ●●●



緩和ケア内科

緩和ケア内科科長 佐藤俊

診察概要

緩和ケア内科は平成27年5月に新設された当院においては比較的新しい診療科です。がん（悪性腫瘍）の診療を受ける患者さんにおいてはその診療過程で時に様々な苦痛（痛み・吐き気・息苦しさなどの身体的苦痛、気持ちのつらさや不眠などの精神的苦痛など。）を経験することができます。当科はそうした患者さんの苦痛を多方面のスタッフ（医師、看護師、臨床心理士、理学療法士、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー）が協力して和らげ、苦痛で苦しんでおられる患者さんの生活の質（QOL：Quality of Life）を改善することを目的としています。

こうした苦痛に対するケアはがん終末期にのみ行うものではなく、診療の早期から行うことで治療の継続が可能となったり、またがんが進行して有効な治療手段がなくなった場合であっても、苦痛を軽減することで残された時間をQOLを保った状態で療養生活を送ることができます。

診療内容

診療内容は外来と入院（緩和ケア病棟）に分かれます。

外来では院内・院外から緩和ケアが必要と判断された患者さんの紹介を受け、上記の苦痛の緩和を行うと共に患者さんやご家族の希望に応じて他の施設からの往診などによる自宅での緩和ケア（在宅緩和ケア）や後述する当院緩和ケア病棟の入院などの橋渡しを行います。また当院での緩和ケアを受けつつ、ご自宅でなるべく生活していきたい患者さんにおいては当科へ通院しつつ緩和ケアを受けていただきながら自宅での生活を続けていけるように援助いたします。

入院に関しては上記の緩和ケアを専門に提供する緩和ケア病棟に入院していただきます。一般病棟や在宅緩和ケアでは対応困難な心身の苦痛のある患者さんへのケアを実施すると共に、当院で人生の最期を穏やかに迎えられるよう援助するための病棟となります。

この病棟は患者さんご自身がご自分の病状を理解し、がんに対する積極的な治療をしないことを同意され、緩和ケア病棟への入院を希望される方が利用できます。

緩和ケア病棟では上記の如く様々な分野のスタッフがチームを組んで担当し患者さんの苦痛を軽減すべく診療を行います。



●●● 面会時間のお知らせ ●●●

※入院患者さんの安静・治療のため、面会時間は必ずお守りください。

※患者さんの状態によっては面会時間内でも面会をご遠慮いただく場合もありますので、ご了承ください。

※面会カードを発行しておりますので、お受け取りになってからご面会ください。面会後は必ず返却をお願い致します。

平日
一般病棟 14:00~20:00
2階重症病棟 14:00~16:00
土曜日・日曜日・祝日
一般病棟 11:00~20:00
2階重症病棟 14:00~16:00

●●● 診療科紹介(2) ●●●



放射線科

放射線診断科部長 岡 田 賢

放射線科（放射線診断科・放射線治療科）は、放射線（主としてX線）を利用して様々な病気の診断・治療を行う診療科です。当院では患者さんに直接受診していただくのではなく、各科からの依頼を受けて診療に当たっています。

当科は常勤医師1名・放射線技師23名・受付事務1名・事務補助1名により構成され、各科の医師や看護師・臨床工学技士などと連携して運営されています。一般撮影、CT、MRI、X線透視、血管撮影、核医学などの検査を行っています。また、2013年より東北大学病院放射線治療科の全面的な協力の下、医療用直線加速装置（リニアック）を使用した放射線治療が行われています。

一般撮影

X線（レントゲンとも言います）を用いて胸や腹、骨などを撮影します。胸や腹の撮影では、心臓や肺など臓器の状態を見ることができます。骨の撮影では、骨折や関節炎などの診断をすることができます。

CT

ドーナツ状の装置に横になった状態で入っていきます。周囲からX線を当ててコンピュータで解析し、脳・肺・肝臓・脾臓・腎臓などの画像を作成します。「造影剤」という薬を注射しながら検査を行うことがあります。



X線CT装置

MRI

筒状の装置に横になった状態で入っていき、脳・肝臓・子宮・卵巣・前立腺・関節などの画像を撮影する検査です。磁気の力を利用しています。「造影剤」という薬を注射しながら検査を行うことがあります。



MRI装置

X線透視

胃や大腸を撮影する検査です。胃の検査では、バリウムを飲んでいただき、体の向きを変えたり・回転したりしながら撮影していきます。大腸の検査では、お尻に管を入れ、管からバリウム・空気を注入していろいろな方向から撮影していきます。

血管撮影

足の付け根・手首などからカテーテルと呼ばれる細い管を入れ、「造影剤」という薬を注入しながら血管を撮影する検査です。脳の動脈瘤や狭窄、冠動脈（心臓に分布する動脈）の狭窄などの診断が行われています。診断だけではなく、血管の狭窄をバルーン（風船）で広げたり、ステント（筒）で血管の通りを良くする治療も行われます。他に、がんに分布する動脈を詰ませたり、抗がん剤を注入する治療も行っています。

核医学検査

放射線を放出する薬剤を注射して、体外に放出された放射線を計測し、病気や臓器の状態を調べる検査です。目的とする臓器や病気により多種の薬剤を使い分けます。体内の薬剤は数時間、遅くとも数日後には体から無くなります。



医療用直線加速装置(リニアック)

放射線治療

病気の部分に放射線を当ててがん細胞などを死滅させ、周囲臓器の機能や形態を出来るだけ温存させる治療法です。手術や抗がん剤治療と組み合わせて行われることもあります。治療は数回（数日）から数十回（数十日）に渡って行われます。

放射線科ではさまざまな検査を通して地域医療の充実に貢献したいと考えております。安心して検査を受けただくために、分からぬこと・困ったことがありましたら遠慮なくスタッフにおたずねください。

●● 感染管理認定看護師について ●●

感染制御室専従 感染管理認定看護師 阿部 則子

感染管理認定看護師 (ICN: Infection Control Nurse) は感染症の予防や感染管理体制の構築、感染性病原体の実態調査などを専門的に行う看護師として日本看護協会により認定されております。ICNは病院内の感染防止対策に従事しており、細菌検査室と連携をすることで、感染性の細菌が院内のどこに、どの程度発生しているのかを確認しています。今後の地域における感染防止対策については、当院の認定看護師会を通していろいろな情報を配信していくことになっております。

では、感染とはいってどういったのをいうのでしょうか。感染とは、宿主(ヒト)が病原体(細菌やウイルス)に触れることにより細菌やウイルスを取り込み、発熱や下痢、嘔吐などを起こしている状態をいいます。また、同じ病原体であっても誰もが感染するわけではなく、感受性といって、人それぞれ感染のしやすさは異なります。病院内にいる患者さんは病気や体力の低下により免疫力が下がっている方が多くいらっしゃいますので、感染しやすい状態にあるということです。そのような理由から風邪や発熱している方のお見舞はご遠慮いただくようお願い致します。

年末年始は、インフルエンザにかかる方が少なめでしたが、寒さが強まるとともに、今後かかる方が増加していくと思われます。そこでみなさんにお願いしたいことがあります。咳がある場合は、必ずマスクをつけて頂きたいということです。また、病院周辺地域でのインフルエンザ罹患率が増加してきた場合なども、お見舞いの際マスク着用を義務化することがございますのでご協力をお願い致します。マスクの自動販売機は、防災センター前と救急外来にあります。

また、手洗い、うがいをこまめに行いましょう。そして体調が思わしくない場合は、無理をせず早めに受診し体を休めてください。

今後当院への受診、お見舞いの際、感染防止のため地域のみなさんにご協力をいただくことがあるかと思いますが、その際はどうぞよろしくお願ひ致します。



●● 栄養サポート ●●

白菜の甘酒煮



栄養量(1人前)

エネルギー 82kcal たんぱく質 6.6g
カリウム 353mg 塩分 1.0g 亜鉛 1.7mg

材料(4人前)

白菜………100g(葉2枚くらい) 甘酒………50g(大さじ3くらい)
しめじ………20g 麺つゆ………5g(小さじ1)
帆立水煮缶………20g

作り方

- ① 白菜は一枚ずつはがし、水洗いし食べやすい大きさに切る
 - ② しめじは石づきを切り落とし、水洗いをしてほぐしておく
 - ③ 鍋に白菜を敷き詰め、しめじを散らし、帆立の水煮缶を汁ごといれる甘酒、麺つゆを加え火にかけ、柔らかくなるまで煮る
- ※塩麹(しおこうじ)もいいですが、塩分が気になる方には甘酒を使うと減塩できます
- ※帆立の水煮缶の代わりに、ツナ缶、かまぼこ、カニ缶でもいいでしょう



一口栄養
メモ

甘酒 甘酒は古くから親しまれてきた飲み物で、最近では飲む点滴とも言われております。また、江戸時代には、夏に甘酒の冷やしたものや熱いものを暑気払いに飲むという習慣がありました。甘酒は栄養豊富で体力回復に効果的な、夏の栄養ドリンクとして夏場には多くの甘酒売りがいたそうです。米麹で作られた甘酒は米と麹を発酵させて作り、発酵の段階で自然の甘さが出ますので、砂糖は不使用で、もちろんノンアルコールです。最近はデザートやお料理に使う人も増えているようです。

••• 第3回中核病院オープンホスピタルを開催します •••

毎年ご好評を頂いております中核病院オープンホスピタルを今年も開催いたします。昨年に引き続き当院医師による医療講演をはじめ、手術器具を使っての医療体験、シミュレーター人形を使っての看護師体験など医療に触れられるイベントの開催を予定しています。

参加は無料となりますので気軽にお越しください。



●日 時 平成28年3月12日(土)

- | | |
|------------|------------|
| 12時30分～ | 受付開始 |
| 13時～13時45分 | 医療講演開催 |
| 14時～16時30分 | 開会式・イベント開始 |

●会 場 みやぎ県南中核病院

●開催イベント

医 療 講 演：①地域医療と中核病院の歩み ②大腸がんについて

模擬医療体験：手術器具を使用して超音波メス、内視鏡、腹腔鏡、縫合の体験ができます。

ナースのお仕事(看護師体験)

：シミュレーター人形を使用しての脈拍・呼吸測定などの看護師体験ができます。

マンモグラフィ見学：乳がん検診に使用される撮影装置の見学ができます。

エコー体験：頸動脈の血管壁の厚さを測るエコー検査が受けられます。

調 剤 体 験：お菓子を使用しての模擬調剤体験ができます。

料理カードバイキング：現在の摂取力口リーを確認し食生活改善の相談が受けられます。

※模擬医療体験のうち縫合体験のみ**予約制**とさせていただきます。

予約開始日2月8日から 先着15名

※混雑を避けるため整理券を配布するイベントがあります

問合せ先

電 話：0224-51-5500 総務課

メール：smmcoh@southmiyagi-mc.jp

ホームページアドレス <http://www.southmiyagi-mc.jp>



••• 外来ボランティアの募集 •••

当院では外来ボランティアさんの募集をしています。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひご応募ください。

◎活動内容：ご来院の方の院内案内や移動のお手伝い、図書の準備・整理など

◎活動時間：平日9:00～11:00のうち、

ご希望の曜日、時間で活動していただきます。（要相談）

◎活動条件：申込み時に18～65歳までの心身ともに健康な方

◎問い合わせ：みやぎ県南中核病院 総務課 千葉まで

TEL (0224)51-5500 (内線 2010)



現在は14名登録され、毎日平均2～3名の方に活動していただいております。ボランティア未経験の方も活動できるように、事前に面談とオリエンテーションを行っております。

《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2016年2月予定

診療科		受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病	8:00~11:00 (9:00~)	坂田芳之	非常勤医師	坂田芳之	非常勤医師	非常勤医師
	甲状腺 (第1・3・5金曜)	9:30~11:00 (10:00~)	X	X	X	X	中村はな (非常勤医師)
	(第2金曜)	13:00~15:00 (13:30~)					深澤洋 (非常勤医師)
	リウマチ・膠原病	13:00~15:00 (13:30~)	佐藤 仁	X	X	佐藤 仁	X
		13:00~15:00 (13:30~)	X	X	非常勤医師	X	X
	腎臓病	13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	X	X	佐藤 仁	X
		9:30~11:00 (10:00~)	X	X	山本多恵 (非常勤医師)	X	X
		13:00~15:00 (13:30~)					X
循環器内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子	塩入裕樹	井上寛一
			塩入裕樹	井上寛一	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子
消化器内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢	阿曾沼祥	佐藤晃彦	木村 修	高橋貴一
	肝臓(紹介のみ)		佐藤晃彦	高橋貴一	梅村 賢	阿曾沼祥	木村 修
			X	X	X	X	石井元康 (非常勤医師)
腫瘍内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	二井谷友公	X	杉山克郎	X	杉山克郎
			杉山克郎	二井谷/非常勤医師	二井谷友公	杉山/非常勤医師	二井谷友公
緩和ケア内科外来(紹介のみ)		13:00~14:45 (13:30~)	X	杉山/佐藤	X	X	佐藤 俊
呼吸器内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	綿貫善太	岡田信司 大河内眞也 (非常勤医師)	岡田信司 東出直樹	綿貫善太
	呼吸器 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	井上 韶 (非常勤医師)	X	X	X	X
神経内科	新患(予約優先) 再来	8:00~11:00 (9:00~)	宮澤康一	澁谷 聰	菅野重範	四條友望 (非常勤医師)	望月 廣
			菅野重範	中原/安藤	澁谷 聰	望月 廣	宮澤康一
外科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	安西良一	嶋健太郎	後藤/鈴木/林	上野達也	井上亨悦
			高橋/井上	上野達也	佐藤 俊	嶋/(高橋)	後藤慎二
	呼吸器 外科 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	X	非常勤医師 (第1・3・5火曜)	X	X	X
	血管 外科 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	非常勤医師 (第2・4木曜)	X	X
	乳・肝・脾 外科 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	非常勤医師 (第1火曜)	X	X	非常勤医師 (第3金曜)
	ストマ 外科 (第1木曜・第3水曜 (紹介のみ))	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	(再来)内藤広郎 (新患)内藤広郎 (第3水曜)	(新患)内藤広郎 (第1木曜)	X
	肛門 外科 (紹介のみ)	9:00~10:30 (9:00~)	X	X	内藤/上野	X	X
脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	X	荒井啓晶	荒井啓晶	荒井啓晶	荒井啓晶
整形外科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	X	橋本禎敬	X	松澤 岳	鈴木貴之
	リウマチ外科脊椎外来	13:00~16:00 (13:30~)		松澤 岳		鈴木貴之	橋本禎敬
						橋本禎敬	X
形成外科	8:00~11:00 (8:30~)	澤村/泉山	澤村/泉山	澤村/泉山	X	澤村/泉山	澤村/泉山
褥瘡外来(紹介のみ)	13:30~15:00 (14:00~)	X	X	X	澤村 武 (第2木曜)	X	X
皮膚科	新患 再来	8:00~11:00 (8:30~)	X	八丁目直和	非常勤医師	八丁目直和	東條玄一
				東條玄一		東條玄一	八丁目直和
リハビリテーション科		14:00~16:00 (14:00~)	瀬田 拓	X	瀬田 拓	X	X
小児科	一般(午前)	8:00~11:00 (8:30~)	大原/林/ 小山/二瓶	林/二瓶	小山/二瓶/ 非常勤医師	小山/二瓶	大原/林/ 非常勤医師
	一般(午後)	15:00~16:00 (15:00~)	大原/林/ 小山/二瓶	林/二瓶	大原/小山	小山/二瓶	大原/林
	心臓外来	13:00~15:00 (13:30~)	X	大原朋一郎	X	X	X
	アレルギー	13:30/14:30 (予約のみ)	X	X	X	X	林 千代
産婦人科	一般	8:00~11:00 (9:00~)	戸澤秀夫	酒井啓治	戸澤秀夫	島田勝子	圓谷 隆
	妊婦健診		酒井啓治	島田勝子	圓谷 隆	戸澤秀夫	酒井啓治
泌尿器科	8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	川村裕子	川村/非常勤医師	和泉卓司	和泉卓司
眼科	13:00~16:00 (13:30~)	X	非常勤医師	X	非常勤医師	X	X
耳鼻咽喉科	8:00~11:00 (9:00~)	新川/工藤	新川/工藤	X	新川/工藤	工藤貴之	
	13:30~16:00 (14:00~)	非常勤医師	X	非常勤医師	X	非常勤医師	
歯科口腔外科	一般(午前)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚
	一般(午後)	13:00~16:00 (13:30~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	千葉雅俊 (非常勤医師) (第2水曜)	伊藤/君塚	伊藤/君塚

この時間等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。

●緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。
 ●原則として電話による新患の予約受付はいたしておりません。
 ●他院からの紹介状をお持ちの方のみ、下記フリーダイヤルでの予約を受け付けています。受付は、平日の午前の8時から11時、午後の2時から4時まで平日の午後2時から4時まで平日の間にご連絡ください。
 TEL:024-5151-5050(代表)